

つなぎ言葉(接続語)

2-6

4 読解

小説という形で世に出た文学作品が映画化される時には、常にその賛否が分かれる。

小説を映画化した場合は普通、小説のテーマやあらすじを元に、監督自身の視点から新たに脚本化され映像化される。ともするとそれは、原作を読んだ人たちのイメージとかけ離れたものになってしまうが、映画化することで原作にはなかった新たな魅力が引き出されることもある。④□、映画は小説では読者の想像にゆだねていた部分が音と映像によって再現されることで、小説の世界観をよりリアルに感じることができる。また、小説に登場する人物を役者に演じさせることで、登場人物の生き生きとした動きや様子を映像で楽しむことができる。

①一方、映画化することの問題点もある。②つまり、映画には時間的な制約があり、小説全体を描き切ることはできないという点で、小説の味わいを消してしまいかねない。③□、映像化によって小説の大きな特徴ともいえる「想像力」を観客からうばってしまい、自由な想像をふくらませることが難しくなるということもありえる。

(1) □④・③に当てはまる言葉として最も適当なものを次のうちから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア なぜなら イ たとえば ウ さらに エ さて あ [] い []

(2) 下線部①「一方」は何と何を比べていますか。次の文の(a)と(b)にあてはまる対比的な言葉を、それぞれ漢字二字で書きなさい。

映画化することの(a)と(b)

(3) 下線部②「つまり」の接続語としての働きを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 文や言葉を並べる イ 文や言葉を付け加える。
ウ 前の文の結果を後の文で表す エ 前の文に説明をおぎなう

(4) 線部を二つの文に分けたとき、次の()にあてはまる接続語を三字で書きなさい。

ともするとそれは、原作を読んだ人たちのイメージとかけ離れたものになってしまう。()、映画化することで原作にはなかった新たな魅力が引き出されることもある。